

● 現在の経営状況^{*2}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	25.8 p	5.1 p ↑
不動産流通業（住宅地）	△ 3.8 p	△ 6.7 p ↓
ビル賃貸業	10.0 p	1.7 p ↑

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 3.2 p	△ 3.2 p ↓
不動産流通業（住宅地）	△ 9.1 p	△ 7.0 p ↓
ビル賃貸業	2.3 p	△ 14.4 p ↓

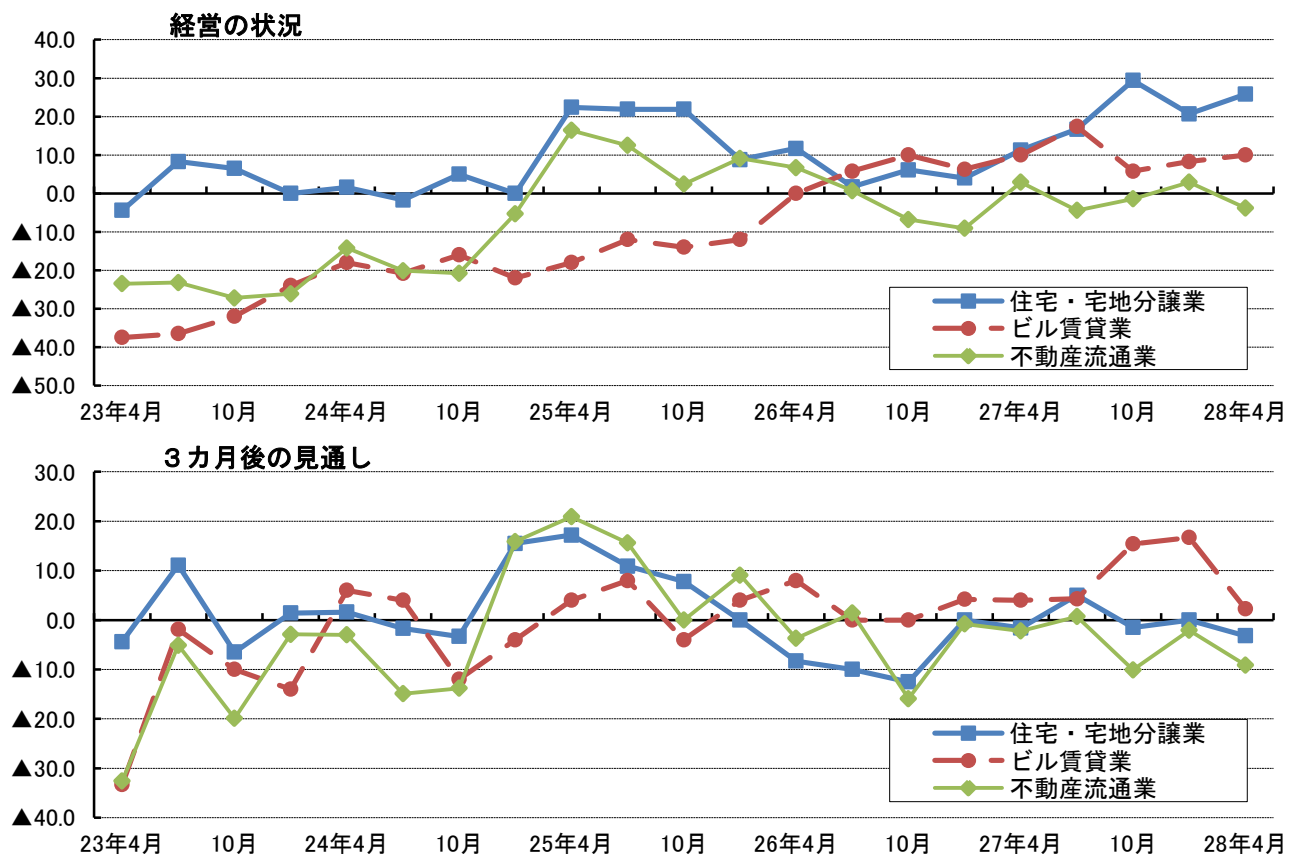
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 5.1p 改善し 25.8p。
不動産流通業は前回から 6.7p 悪化し △3.8p。
ビル賃貸業は前回から 1.7p 改善し 10.0p。
いずれもプラス水準となった。

3ヶ月後の見通しは、住宅宅地分譲業、不動産流通業、ビル賃貸業で悪化。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。
調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況＝{（「良い」×2＋「やや良い」）－（「悪い」×2＋「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

*3 3ヶ月後の見通し＝{（「良くなる」×2＋「やや良くなる」）－（「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」